

国語教育担当教員公募

静岡大学学術院教育学領域

1. 職名・人員 講師又は助教・1名
2. 所属系列 国語教育系列
3. 専攻分野 国文学（古典文学）・国語教育
4. 担当授業科目 学 部：古典文学研究、国文学概論（国文学史を含む。）、専門基礎国語、国語科
教科内容論Ⅰ・Ⅱ 等
その他、全学教育科目（「新入生セミナー」「ことばと表現」等）を担当
することがある。
大学院：教材開発論(国語)、教科内容論(国語)、教科内容演習A・B(国語) 等
※上記は分担して担当する科目を含む。
5. 応募資格
 - (1) 博士の学位を有する者またはこれと同等の研究業績を有する者
 - (2) 国文学（古典文学）分野において十分な研究遂行能力を有し、また大学院・学部での教育・指導を行う能力を有する者
 - (3) 中・高等学校の古典教育に経験・知見のある者
 - (4) 教育学部における教員養成及び地域の教員研修に熱意をもって取り組む者（教員免許状を有することが望ましい）
 - (5) 入試および大学全体、学部、講座等の運営上必要な各種委員としての業務を担当できる者
6. 提出書類
 - (1) 履歴書
（別紙書式を使用して作成のこと。写真貼付（上半身、脱帽、およそ縦40mm×横30mm）。
個人の携帯番号及びE-mail アドレスがあれば付記のこと。）
 - (2) 業績一覧表
（指定する応募書式に基づき記載のこと。書式については、
<https://www.ed.shizuoka.ac.jp/topics/recruit/> を参照。）
 - (3) 著書・論文等（全ての著書・論文等 [コピー可]）
 - (4) 大学の卒業証明書
 - (5) 大学院の修了証明書又は在学証明書、及び成績証明書
 - (6) 研究業績の概要
（主要な業績5点以内について、A4判にそれぞれ200字程度で概要を記すこと。）
 - (7) 教育及び研究についての今後の抱負
（教育と研究について、A4判にそれぞれ1000字程度で記すこと。）
 - (8) 応募書類返却用の梱包袋（着払いゆうパック等）

※上記の(2)、(6)、(7)については、印刷物に加え、MS-Word形式あるいはテキスト形式
ファイルとして保存したCD-RもしくはUSBメモリー等も添付してください。
7. 選考方法 静岡大学学術院教育学領域教員人事内規の定めに基づき選考する。
8. 採用予定日 令和6年4月1日（月）
9. 応募締切日 令和5年9月28日（木）（必着）

10. 応募書類の送付先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 静岡大学学術院教育学領域長宛

※ 「国語教育担当教員応募書類在中」と朱書きで表記し、書留等の配達の確認ができる方法にて送付してください。

11. 問い合わせ先

静岡大学学術院教育学領域国語教育系列 中村 ともえ

TEL : 054-238-4590 (ダイヤルイン)

E-mail : nakamura.tomoe(at)shizuoka.ac.jp (at)は@にご変更ください。

応募書類の様式については、<https://www.ed.shizuoka.ac.jp/topics/recruit/> を参照してください。

12. その他

- (1) 必要に応じて面接を行います。その際の旅費は自己負担となります。
- (2) 審査結果は、選考が終了し次第（12月中旬予定）本人宛に通知します。
- (3) 応募書類は本選考のためだけに使用し、それ以外には使用しません。また、選考終了後に返却します。
- (4) 給与は、年俸制が適用されます。
- (5) 本学教員の定年年齢は65歳です。
- (6) 教育、業務の遂行に支障がないよう静岡市又は静岡市周辺地域に居住することが望ましいです。
- (7) 静岡大学は、「静岡大学男女共同参画憲章」を定め、女性研究者支援を含めた男女共同参画を推進しています。女性の積極的な応募を期待しています。
＜静岡大学における男女共同参画の推進＞
静岡大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。
本学では、子育てや介護に関して様々な支援制度を設けております。詳細は男女共同参画推進室Webサイト (<https://www.sankaku.shizuoka.ac.jp/>) をご覧いただくか、男女共同参画推進室 (takenoko@adb.shizuoka.ac.jp) までお問合せください。
- (8) 静岡大学は、教育研究両面での国際化の進展を図るため、外国籍の方の積極的な応募を期待しています。
- (9) 研究業績の審査において、産前、産後休暇又は育児休業取得による研究中断期間がある場合には、応募者の申し出により考慮します。
- (10) 大学院修了又は学位取得（見込み含む。）後、間もない若手の方も歓迎します。